

平成25年9月7日 荻窪中学校学校運営協議会発行

15歳ビジョンを共に考える会

平成25年度地域運営学校交流会

平成25年7月13日(土) 15:00~17:00 会議室

交流会に寄せて

学校運営協議会会長 徳田 達介

荻窪中学校には「学校運営協議会」「学校支援委員会」「PTA」の三つの組織があり、それぞれの立場で学校を応援しています。

7月13日(土)に「PTA」の新しい役員の方々と三つの組織の方々との顔合わせを兼ねた交流会を開催しました。

テーマは「15歳ビジョン」で、高際副校長の手際の良いリードもあり、楽しい有意義な時間を過ごしました。

15歳ビジョン

今回は、「義務教育修了時にどんな15歳になってほしいか」「そのために周りの大人は何をすればよいのか」を3段階でグループごとに話し合いました。子どもの年齢や立場の違いもあり、下記のようなたくさんの意見が出ました。これらは、2時間の話し合いの中での一部の意見です。詳細をお知りになりたい方は、事務局へお問い合わせください。

「15歳ビジョン」は、生徒や桃井第三小学校、井荻小学校でも話し合われています。学校運営協議会でも考え続けていきたいテーマです。みなさんも、「どんな15歳になってほしいか」を一緒に考えませんか？

議題1 「荻中15歳ビジョンの策定！」～どんな15歳になってほしいか(ほしかったか)～

- <やさしい15歳> 「家族や友達を大切にする」「思いやりがある」「本当の優しさを知る」
- <自信をもった15歳> 「自分や荻中を誇りに思える」「人を信じられる」「自分を大切にする」
- <コミュニケーション力のある15歳> 「人との違いを認められる」「友だち(仲間)を大切にする」
- <学ぶ・向上する15歳> 「新しい事に興味をもつ」「目標をもつ」「本を読む」「授業を大切にする」
- <行動する15歳> 「やりたいことに進んで挑戦する」「地域貢献に興味をもつ」
- <強さ・考える力・発信する力のある15歳> 「自分の意見をもち、発信できる」

議題2 ビジョンの実現を目指すためには！(1)

～何をすればいいのだろう？～

- <グループ①> 「生涯を通じての友達作り」
- <グループ②> 「コミュニケーション力 自立力 社会力」
- <グループ③> 「自分の意見をもち発信する」
- <グループ④> 「何もなくても生活できる力を育てる」



議題3 ビジョンの実現を目指すためには！(2)

～地域運営学校である荻中のCS協議会、PTA、おぎすけは、何をすればよいか～

- <PTA> 「グローバルな力(将来の日本を背負う)」
- <おぎすけ> 「荻中生のコミュニケーション力を育てる」
- <CS> 「生徒 先生 保護者とコミュニケーションをとり、ニーズに 応えていくことで、学校をよくする」

活動報告

給食

夢を抱き入学して1か月が経ち、学校生活にも慣れてきた1年生と給食と一緒に食べて、生の声を聞くことができました。

各クラスとも和気あいあいと楽しく会話の花を咲かせながらの給食タイムでした。

部活動も本格的に始まり、部活の様子を目を輝かせて話してくれました。

給食は和食が苦手な傾向が見受けられました。栄養士さんがバランスの良い献立をたててくださっているので、嫌いという概念を捨て、なんでも残さず食べる習慣を身に付けてほしいです。(金子委員)

音楽鑑賞教室

日本フィルハーモニー交響楽団の5名の管楽器奏者の方々が来校されました。ホールに足を運ぶことなく、プロの生演奏を間近で聴かせていただきました。演奏者の方々が個々の楽器の特性や高価な楽器であることなどの説明を交えて、中学生に興味をもってもらえるよう工夫されたプログラムでした。聴かせていただく側としても演奏会の始まる前に小作先生より、聴き方のマナーを教えてくださいました。即実行できた荻中生の順応性は、すばらしいものがあります。この体験を生かし、学芸発表会で成果を發揮してほしいものです。(金子委員)

部活動(野球部)

本年度発足の新生野球部はようやくメンバーも揃い始め「まずは一歩」を歩みだしました。

思いも実力もばらばらの部員が懸命な若い先生方のもと、目標を掲げ、一期生の重みを感じ、チームワークで勝ち取る「まず一勝」に期待しつつ応援を続けていきたいと思えます。(石井委員)

保護者会

各学年の保護者会においては保護者の方々の肅々とした雰囲気の中にも明るく前向きな連帯感を感じることができました。生徒と保護者ともに連携し、皆でつくりあげていく「荻中」にしていけたらよいと願います。(石井委員)

学校運営協議会の今後の予定

9月…「学校評価」について「CS便り」発行

10月…「学芸発表会」参加

11月…「(仮)生徒の声を聞く会」開催

12月…「教職員任用意見」検討

「学校経営方針」承認

セーフティ教室

「杉並の子どもを薬物からまもる会」とダルク(※)の方々が来校され、実際に薬物に手を染め、心身共に更生することがいかに大変であったかをお話してくださいました。

中学生にとっては薬物の恐ろしさは漠然としていてわからないことが多いと思います。

インターネットの普及で、興味本位で知らず知らずのうちに、簡単にサイトにアクセスもできる世の中であるだけに、確かな知識を身に付けることが大切な時代です。質疑応答にはたくさんの質問をしていました。

薬物が身体に与える害や高額のお金もかかり、人生をも棒に振ってしまう恐ろしいものであることを理解できたのではないかと思います。甘い口口に断る勇気をもってほしいと切実に訴えてくださいました。(金子委員)

*ダルクとは「Drug Addiction Rehabilitation Center」の略で、薬物依存の経験者が立ち直るための活動をしている組織です。

小中一貫

7月に2回行われた荻中生の桃三小訪問、小学生は制服姿の先輩の来校に大喜び。中学生には、自身の成長を感じることでできる良い機会になったのではと思えます。

7月3日の教職員の合同研修会は、桃三小・井荻小の先生方の荻中授業参観後、3校の先生方による「小から中への切れ目のない教育について」の協議が行われました。全教職員参加という貴重な協議。このような研修や交流を通して、小学生が不安なく中学校に上がり、目標(15歳ビジョン)をもって成長していける体制作りができることを望みます。

(清水委員)

荻中夢時間

荻窪警察による3年生の授業では、社会で起こる問題に関心をもち、自分のこととしてとらえるきっかけになったことと思います。生徒たちは活発に討論し、自分や家族が犯罪に巻き込まれないためにどうすればよいのかを真剣に考えていました。

(清水委員)

学芸発表会

< 日時 > 10月12日(土)10時20分～15時30分

< 会場 > 杉並公会堂 大ホール

< プログラム > (午前)合唱コンクール

(午後)舞台発表

子どもたちの輝く姿を親に、是非ご来場ください。